



授業公開講座

市民がになう国際観光論

申込書

FAX 0138-22-0660

日 程	講義形態	講義内容・講師・講義時間帯 (1) 10:40～12:10 (2) 13:00～14:30 (3)14:40～16:10	受講希望欄
■9/26 (土) 国際観光とは何か (概論)	講 義	(1) 新しい視点を持って！国際観光は市民が主役だ (松本大学観光ホスピタル学科長 教授 佐藤 博康氏) (2) 国際観光都市・飛騨高山の官民一体の取り組み (高山市商工観光部長 片岡 吉則氏) (3) 通訳ガイドから見たこれからの国際観光に求められるもの (通訳案内士、日本観光通訳協会 (JGA) 理事 高宮 暖子氏)	
■9/27 (日) 日本文化編	講 義	(1) 外国人から見た日本文化の奥の深さとは (紗幸 / フィオナ・グレアム氏 浅草花柳界芸者) (2) 外国人が泊まる宿・日本の旅に求めているものは何か (澤の屋旅館 館主 沢 功 氏) (3) 在住の外国人と日本の魅力・これからの国際観光を語る (澤の屋旅館 館主 沢 功 氏)	
■9/28 (月) アウトドア・体験観光編	講 義	(1) ニセコにおける外国人観光客受入はどのように成功したか (NAC ニセコアドベンチャーセンター代表取締役 ロス・フィンドレー 氏) (2) これからの国際観光に必要なキーワードとは (亜細亜大学 経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科 教授 安田 彰 氏)	
	ワークショップ	(3) 世界の中で NO1 になるワークショップ (亜細亜大学 経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科 教授 安田 彰 氏)	
■9/29 (火) 地球環境編	講 義	(1) 環境を考えたこれからの観光はどうあるべきか (未来バンク理事長 田中 優氏) (2) イギリスのエコビレッジが持つこれからの可能性 (エコロジスト、コミュニティデザイナー 坂本 純科氏)	
	ワークショップ	(3) 大沼における環境保全対策を学ぶワークショップ (大沼ワークキャンプ / エコロジスト、コミュニティデザイナー 坂本 純科氏)	
■9/30 (水) 国際観光の市民ネット ワークづくり (実務企画)	ワークショップ	(1) ホスピタリティを学ぶワークショップ (2) 市民一国際がつながる観光ワークショップ (3) 市民がになう国際観光のネットワークをつくる (3 講座とも NPO 法人国際ファシリテーション協会専務理事 椿 景子氏)	

- ・各講師の詳細プロフィールは次の URL をご覧下さい。 <http://www.hif.or.jp>
- ・ワークショップは学生を含む少人数のグループに分かれて課題について討議し合い講座を進めていく形態です。

■複数の講座の受講が可能です。

財団法人 北海道国際交流センター (HIF) あて、ファックスまたは e-mail にてお申し込みください。

□ファックス：0138-22-0660

□e-mail：ikedahif@hif.or.jp

ふりがな
お名前

性別 男 ・ 女 年齢 歳

〒

受講票送付先住所

電話番号

■本講座に関する問い合わせ先：財団法人 北海道国際交流センター (HIF) (電話：0138-22-0770)

※本講座はキャンパス・コンソーシアム函館と財団法人 北海道国際交流センター (HIF) が協力して実施するものです。